

三〇九一番

鴨かもすらも 己おのが妻つまどち あさりして 後おくるる間にあひだ

三〇九二番

白真弓しらまゆみ 斐太ひたの細江ほそえの 菅鳥すがとりの 妹いもに恋こふれか  
眠いを寝ねかねつる

三〇九三番

篠しのの上うへに 来居きゐて鳴なく鳥とり 目めを安やすみ 人妻ひとつまゆゑ故こに  
我あれ恋こひにけり

三〇九四番

物思ものおもふと 寝いねず起おきたる 朝明あさけには わびて鳴な  
くなり 庭にわつ鳥とりさへ